

横浜市政記者会発表

2021年5月21日
広 報 課

「お笑い」でSDGsを達成しよう！

横浜市大 × お笑い芸人のコラボレーションによる大学院授業

横浜市立大学 大学院都市社会文化研究科^{*1}では、吉本興業に所属する現役お笑い芸人の講師を招き、楽しくSDGsを達成するためのアクティブ・ラーニング・プログラムを実施します。

講義では「お笑い」をテーマとし、多くの人を巻き込む可能性のあるSDGsの達成プランを考えるというコンセプトのもと、楽しくSDGsのターゲットに寄与する事業を考えるグループワークを行います。現役お笑い芸人の講師が、「お笑い」の社会的意義と、国によって異なる「お笑い」の文化的特性を解説することによる異文化理解を図りつつ、SDGsの達成に向けて、受講生が具体的に考える視点を持つように促します。

【講義の概要】

タイトル：「お笑いでSDGsを達成しよう！」

講師：マヌー島岡氏、シラちゃん氏（フランポネ）^{*2}、藤田ゆみ氏^{*3}

授業名：大学院 都市社会文化研究科 「総合研究科目4（SDGsの基礎と実践）」

担当教員：影山摩子弥 教授^{*4}

授業日時：2021年5月29日（土） 10:30～12:00

場 所：横浜市立大学 みなとみらいサテライトキャンパス

横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー7階

https://www.yokohama-cu.ac.jp/access/satellite_campusmap.html

受講者：都市社会文化研究科 博士前期課程学生（一般の方には公開されません）

【当日のプログラム】

<第1部>

- ・ 本日の趣旨説明
- ・ 講師の自己紹介&活動報告

<第2部>60分

- ・ グループワーク
 - (1) 「お笑い」をキーワードに、SDGsのターゲットに対応する事業を考える
 - (2) そのターゲットにどのような貢献ができるかを整理する
 - (3) グループ発表
 - (4) コメント

<参考>

*1 大学院 都市社会文化研究科

都市社会文化研究科では、SDGs について学ぶ専用のプログラム「持続可能な地域社会プログラム」を立ち上げるとともに、専任教員の授業を SDGs のゴールに紐づけた一覧表を作成し、学生にとって授業と SDGs との関連がわかるようにしているなど、SDGs のアプローチで都市課題を解決する研究・教育を積極的に行っている。

*2 フランポネ

NSC 東京 24 期生、日本で唯一フランス語で漫才ができる国際夫婦漫才コンビ。

マヌー島岡氏は、元商社マンであり、ベルギーの大学院卒、5ヶ国語（英・仏・西・伊・蘭）が堪能。

シラちゃん氏はスイス人（ジュネーブ出身）で、母国語はフランス語。

「漫才で覚える英語！」のプログラムを様々な大学や地域で開催するなど、「お笑い」を通じた社会貢献で注目を浴びている。吉本興業所属。

*3 藤田ゆみ氏

吉本興業所属のスペイン語大好き芸人。フランポネのシラちゃん氏と「しらゆみ」というお笑いコンビを組み、日本語学校で漫才を行う。

吉本興業で唯一「スペイン語で漫才ができる芸人」を目指している。

*4 影山摩子弥 教授（都市社会文化研究科）

1989 年 横浜市立大学商学部専任講師、助教授（1990 年）、教授（2001 年）を経て、2005 年より国際総合科学部（現国際教養学部）教授。経済システム論、経済原論を専門とし、CSR に関する実証的な研究を行う傍ら、企業等からの相談にも対応している。